

【交野市】
校務DX計画

「GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議提言」や「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」を踏まえ、本市では校務DXに係る以下の取り組みを推進する。

1. 校務系・学習系ネットワークの統合

教職員が働きやすく、データ連携を行いやすいネットワーク環境を実現するため、ゼロトラストの考え方に基づきアクセス制御によるセキュリティ対策を十分に講じた上で、校務系・学習系ネットワークへ接続可能な環境の整備に向けた調査研究を着実に進める。

2. 校務支援システムのクラウド化

本市では、令和2年度に校務支援システム（オンプレミス）を導入し、教務・保健・学籍・成績管理など幅広い校務で利用している。今後の更新に向けては、汎用クラウドツール（グループウェア、保護者連絡、備品管理等）と連携し、教職員の負担軽減やコミュニケーションの迅速化・活性化を可能とする環境を構築するため、校務支援システムのクラウド化について、府域での共同調達や先進自治体の動向を注視しつつ、構築に向けた調査研究を着実に進める。

3. クラウドサービスの活用

児童生徒の出欠連絡や学校から保護者へのお便り等の配布、保護者連絡などへのクラウドサービスの活用は、ペーパーレス化の進展だけでなく、教職員の働き方の改善に対する効果実感が高かったとの報告がされている。本市でも、これらクラウドサービスの活用が一部の学校で進んでおり、今後は1人1台端末によるGIGAスクール環境をさらに活用して更なる執務環境の改善に努める。

4. FAX及び押印の見直し

令和6年12月に文部科学省が公表した「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告によると、大多数の学校が日常の業務にFAXを使用している、また、業務で押印が必要な書類があると回答している。これらは本市でも概ね同様の回答状況となっており、FAXの使用や押印は、クラウド環境を活用した校務DXを大きく阻害していることが指摘されていることから、災害や教育ネットワーク

不具合時などの例外的な場合を除き、FAX・押印の原則廃止に向けて、継続的な見直し及び働きかけを行っていく。